

(一社) 日本建築士事務所協会連合会 発表資料

省エネ性能向上に係る課題等

共通課題

■省エネに対する理解とモチベーションを高める働きかけ

- 省エネがコスト増に見合う価値を持つことをアピール
 - 光熱費低減などの経済効果
 - 高血圧を抑制する健康増進効果
- 地域性を考慮した啓発活動の工夫
 - 寒冷地地域、温暖地域の特性に対応した多様な省エネ手法の紹介
 - 設計者や建築主の省エネ意識の地域特性に配慮

小規模建築物・住宅の課題

■ 建築士の関与で省エネ基準適合を担保する制度

- 設計の主体は中小規模設計事務所（省エネ計算に不慣れ）
⇒ 建築士事務所の技術力向上を支援する各種施策が必要
 - 技術講習会の開催、省エネ設計標準図の整備等

■ 現状把握

- 正確な現状把握のための仕組み（現行届出制度よりも簡便な報告制度など）が必要

中規模建築物の適合義務化における現状と課題

■現状

- 適合率は既に高い（平成29年度 91%）
⇒適合義務化による伸びしろは小さく、省エネ効果はあまり期待できない
- 設計事務所は中小規模が多い
⇒小規模建築物と同様の技術的課題

■課題

- コスト面の課題：省エネ計算外注費用、適判申請料、計画変更に係る費用
- 時間的な課題：設計日数、確認申請審査日数、設計変更（再審査）に要する日数
- 発注者の理解が必要：建築主の負担軽減のための補助金制度の充実

大規模住宅の適合義務化における現状と課題

■ 現状

- 適合率が低い（平成29年度 60%）
⇒ 適合義務化による高い省エネ効果が期待できる
- 適合率が低い要因の詳細な分析が必要。
⇒ 住戸単位で見れば適合率が高くなる可能性も
- 事業者の規模が大きい
⇒ 省エネ計算への対応のハードルは高くないと思われる

■ 課題

- 技術面の課題：複層ガラス、断熱材の仕様グレードアップ等
⇒ 戸建住宅では普及している在来の技術であり対応は容易
- 価格面の課題
⇒ 追加的コスト低減の工夫

既存ストックの省エネ性能向上の課題

■ 課題

- 一般消費者である個人所有者にとっては省エネ改修費用の負担が大きい
⇒ 専門家の介在による中古住宅市場の適正な活性化の推進
 - 重説項目・インスペクション項目に省エネ性能値を盛り込む
 - リセールバリュー（省エネ改修による付加価値）の見える化